

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成29年11月 9日 NO.8 穂坂小学校長

第39回穂坂小学校菊まつり

みんなで作りあげた充実感・達成感をステップに…!

朝晩の冷たい空気が、冬の到来を感じさせます。

先週行われました「第39回穂坂小学校菊まつり」は晴天に恵まれ、まさに菊まつり日和でした。



子どもたちはおよそ三週間にわたり、練習に励んでいました。

全校合唱の練習では、はじめは声は出ているものの、表情が硬かったり、楽譜通りに歌えなかったりして、気持ちを一つにできなかった子どもたちもいましたが、練習を重ねるうちに、表情が柔らかくなり、きれいな声で歌うことができるようになりました。子どもたちの練習に臨む姿勢から、「もっと上手になろう!」「心を一つにして歌おう!」という前向きな気持ちが感じられ、心を打たれました。

菊まつり当日の歌声からも、そのことを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

学年発表の練習でも、はじめは、大きな声が出せず台詞も棒読み、加えて動きがわからず右往左往していた子どもたちでしたが、友だちや教師に励まされながら練習するうちに、台詞に気持ちを込めることができるようになったり、動作を自分なりに考えて工夫したりするようになりました。

日一日と成長していく子どもたちの姿に、感心したのは言うまでもありません。もし、子どもたちが、たった一人で練習に取り組んでいたのなら、こんなに力を伸ばすことはできなかったと思います。友だちとともに上手になろうとがんばる気持ち、みんなと一緒に練習の輪の中にいるという連帯感、みんなの力で作品を仕上げるのだという意欲があったからこそ、力を伸ばし、当日の堂々とした発表につながったのだと思います。「集団の中において、はじめて学べること」…これが、学校行事の大きなねらいです。

子どもたちは、菊まつりの取組を通して、集団で活躍することの大切さや喜びを知り、大きく成長したと思います。

いよいよ二学期の学習のまとめの時期に入ります。菊まつりの取組で培ったがんばりを、今後の学習に活かせるよう、ご家庭におかれましても励ましの声をかけていただきたいと思います。充実した二学期が送れますようご協力をお願いします。



シリーズ⑧

褒め言葉の効用!

さりげない一言が、あたたかい!

ねぎらいの言葉…「ご苦労さま」
感謝の気持ち…「ありがとう」

忙しかったり、イライラしたりしていると、つい「子どもだから、やって当たり前!」「子どもだから、できて当然!」とってしまうことがあるものです。そんな時でも、感謝の気持ちを一言付け加えるだけで、その後の子どもの行動は、大きく変わります。

「ご苦労さま」… 「ありがとう」…

さりげない一言ですが、明るく表現することで、子どもにはさらにやってみようという気持ちが生まれます。

感謝の気持ちを伝える言葉を、いつも心に入れておきたいものです。